

# モグリンニュース

第15号(2006年7月)

## またも雨...

雨が降ったりやんだりとうとうしい毎日ですが、みなさま元気にお過ごしですか？恵みの雨も、各地で災害などを引き起こしているのをニュースで目にする、早く梅雨が明けてほしいという気持ちになりますね。

さて、6月17日(土)に文化財課で行ったボランティア研修会ですが、前回に続いてまたも雨になってしまいました...。梅雨だから？いやいや...。謎は深まります。

今回は、文化財課の事業でも人気の定番メニュー、火起こし・古代米炊飯・弓矢にチャレンジしました。最初はうまく火がつかなかったり、矢を遠くに飛ばせなかったりした方も、徐々にコツをつかんでいられました。土器でじっくり炊いた古代米もとってもおいしかったですね！古代の暮らしに想いを馳せたひとときでした。

## 野焼きに行ってきました！



土器を徐々に火に近づけながら焼いてきます。(6/19 伴南小学校)



先月は何人かのボランティアの方にご協力いただき、3校の小学校へ土器の野焼きに行ってきました。暑い日差しと熱い炎のもとでの大変な作業でしたが、おかげで無事終わることができました。野焼きした土器は、窯では出すことのできない独特の風合いがあり、焼き上がった土器を見て、こどもたちも目を輝かせていました。



煙が出てきてからが勝負です！



赤飯のように見えるのが古代米です。

## ホタル観察会に協力しました

現在似島（南区）では、住民や区役所などが中心となって地元のホタルの保護活動に取り組んでいます。その一環として先月 24・25 日に現地（“似島ほたるの里”と呼んでいます）で観察会が開かれました。このイベントのオプションメニューとして、私たち文化財課が土器を使った古代米炊飯と火起こし体験を行い、6名のボランティアさんにご協力いただきました。またまた(?)あいにくの大雨でしたが、炊事場の屋根の下で、参加者の皆さんは古代人気分を十分味わっていました。



炊飯の準備をする“モグラ軍団”です。



湿度が高かったにもかかわらず火をつけることができました。

## ドシドシご参加ください!!

8月中に協力をお願いしたい出張事業などについてお知らせします。詳細は、次回のボランティア研修会（7/15）の中でご案内させていただきます。興味のある方はドシドシご参加ください。初めての方も大歓迎ですよ！連絡お待ちしております。



日	時間	場所	内容
8月2日(水)	午前10時～午後0時頃	温品公民館(東区)	まが玉づくりの指導
8月3日(木)	午前10時～午後0時頃 午後1時～午後3時頃	広島市郷土資料館(南区)	麻布コースターづくりの指導
8月5日(土)	午前10時～午後0時頃	佐東公民館(安佐南区)	まが玉づくりの指導
8月5日(土)	午前10時～午後5時頃	広島市郷土資料館(南区) 広島市江波山気象館(中区)	被爆建物の解説(事前に勉強会を行います)
8月26日(土)	午後1時～午後5時頃	似島公民館(南区)	鹿角製釣り針づくりの指導 & 釣り

## いま発掘調査中の2遺跡を紹介します

現在発掘調査中の現場では、担当職員や作業員が暑い日も寒い日も屋外で作業を行っています。平日になるかとは思いますが、現場の見学会も計画中です。楽しみに！

### トンガ坊城遺跡

安佐北区三入の可部バイパス建設予定地内にある遺跡です。中世の山城ということで調査が始まりましたが、その下から弥生時代の建物の跡や古墳などが見つかりました。遺跡は根之谷川に面した南向きの傾斜面にあって、日当たり・風当たりとも最高の立地です。



上：現場の様子です。眼下には国道54号線沿いの町並みが広がっています。

左：遺跡から見つかった鉄の斧です。赤さびでおおわれていますが、原形がよく残っています（下側が刃です）。



### 広島城跡 法務総合庁舎地点

広島高等裁判所の東隣で、庁舎建て替え工事に先立って調査が行われています。江戸時代、ここには広島藩に仕える武士たちの屋敷が建ち並んでいました。遺跡では、建物の柱をのせる礎石や排水溝・井戸・ごみ捨て穴などがたくさん見つかりま

す。また陶磁器類やさまざまな木製品・玩具などの生活用品からは、当時の人々の暮らしぶりを垣間見ることができます。

上：大学の専門の先生に現場を見ていただいています。

右：これまでに広島城関連の発掘調査で見つかった江戸時代の貨幣です。まん中の「寛永通宝」はたくさんありますが、左の「二分金」と右の「天保通宝」は市内では1枚ずつしか見つかりません。



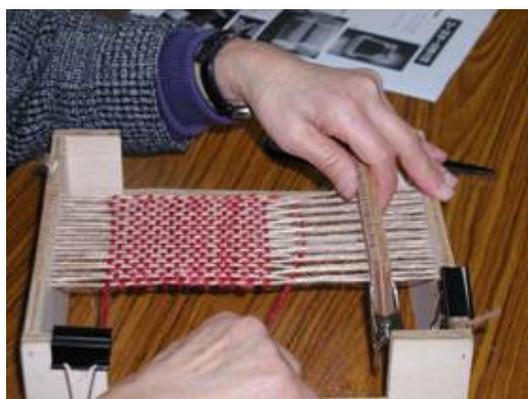
## 7月の研修会について

次回の研修会は7月15日(土)午前10時から文化財課で行います。今回の内容は、鹿の角を使った釣り針づくり(午前) & 古代の織物体験(午後)です。

鹿の角は、加工がしやすく適度な硬さもあるので、古代からアクセサリーや生活道具の材料として利用されてきました。広島県内の縄文時代の遺跡(帝釈峡にある洞くつ遺跡です)からも、鹿角製の釣り針が発見されています。実際、昨年の事業では、自分で作った釣り針を使って、たくさんのニジマスを釣り上げました。細くても意外に丈夫なんですよ!



根気よく削っていきます。



縦糸に横糸を交互に通しながら織っていきます。

織物体験では、麻ひもを使ってかわいいコースターを作ります。布を織る技術が広まったのは弥生時代。今では機械であつという間にできてしまう布も、当時は長い時間をかけて作られていました。研修会では簡易の織機を使って布づくりにチャレンジします。

8月に、それぞれの内容をテーマにした事業を行います。特に麻布コースターづくりは、昨年まで文化財課にいた小林さんのいる郷土資料館で行いますので、ご都合のつく方はぜひご協力ください!

**各イベントに参加が可能な方は、事前に電話または下記のアドレスあてにご連絡ください!**

Eメールアドレスをお持ちの方はよろしければアドレスを教えてください。連絡事項や入手できた情報など、郵送では時間のかかる場合は、電話かEメールでお伝えしたいと思います。

**文化財課の連絡先** 稲坂・荒川・田原 まで

〒732-0052 広島市東区光町二丁目15-36

TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513

稲坂 [ina@mogurin.or.jp](mailto:ina@mogurin.or.jp) 荒川 [ara@mogurin.or.jp](mailto:ara@mogurin.or.jp) 田原 [tahara@mogurin.or.jp](mailto:tahara@mogurin.or.jp)

文化財課ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>